

令和3年4月1日

延長コード被覆の損傷・劣化を起因とした火災

1 出火日時

3月00日 午後5時00分

2 火災概要

木造2階建ての水産加工場の床面積 27 m²を焼損した火災。工場関係者は不在だったが、付近の工業者が2階ダクトから黒煙が噴出しているのを発見し、119番通報したもの。

3 原因概要

事務室内のスチールラック脚部に結び付けて使用していた延長コードの絶縁被覆が損傷、劣化し、芯線どうしが接触するか、または露出した素線がスチールラックに接触することにより短絡が発生し綿埃等に着火、スチールラック棚上に置かれていた新聞紙等に延焼したもの。

4 鑑識の状況

項目	状況
短絡	○
半断線	○
アーク火花	○
漏電	○
並酸化銅	○
トラッキング	○
過電流	○
接触不良	○

◀短絡、半断線、接触不良等あらゆる可能性を検討

3口テーブルタップ



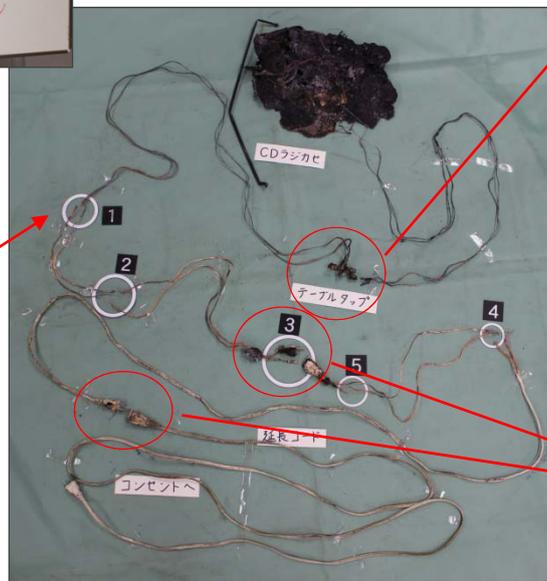
○開いた受け刃
□閉じた受け刃

▲開いた受け刃は、火災時にプラグが差し込まれていたことを示しており、今回テーブルタップに差し込まれていたのはラジカセのみと判明。過電流・半断線・アーク火花による出火は考えにくい。

1の短絡痕



▲1～5には短絡痕が発生している。短絡は器具側から順番に発生したと推測できることから、1が最初に短絡が発生した部分と推測でき、1周辺の状況から今回の火災原因を突き止めることができた。



コード接続部分



▲トラッキング・接触不良の痕跡なし

担当：予防課
連絡先：0226-22-6693